

平成28年1月教育委員会定例会 会議録

平成28年(2016)1月26日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	松 井 博 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者 2 名

開会

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(成相委員長) 最初に、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。赤木教育部次長に進行をお願いします。

(赤木次長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈式を行います。

本日、感謝状を贈呈する皆様は、7つの団体及び個人の皆様 でいらっしゃいます。それでは、お一人ずつお名前をお呼びいたしますので、その場にご起立をお願いいたします。

まず最初に、湖陵子ども見まもり隊 様でいらっしゃいます。

(紹介)

それでは、成相教育委員長から感謝状を贈呈します。前の方へお進みください。

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) それでは、続きまして、佐野祐治 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 続きまして、川跡地区登下校見守りグループ 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 続きまして、鳶巣地区見守りネットワーク 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 続きまして、川跡共有山林委員会 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 続きまして、鳶巣竹工房 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) 続きまして、少年補導委員連絡会平田支部 様でいらっしゃいます。

(紹介)

(成相委員長) (感謝状と記念品を贈呈)

(赤木次長) ありがとうございます。それではここで、本日受賞されました皆様を代表して、湖陵子ども見まもり隊 代表の坂根忠徳様からご挨拶をいただきたいと思えます。皆様、ご起立をお願いします。坂根様、よろしく申し上げます。

坂根忠徳様 ご挨拶

(赤木次長) 坂根様、ありがとうございます。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈式を終了します。一同、礼。

それではここで、今日受賞されました皆様方にはご退席いただきますので、どうぞ大きな拍手でお送りいただきたいと思えます。

受賞者退席後 再開

(成相委員長) それでは只今から、平成28年1月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

2. 会議録の承認

(成相委員長) それでは会議録の承認に入ります。12月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に意見等ありませんので、12月定例会の会議録については承認いたします。

3. 教育長行政報告

(成相委員長) 次に、行政報告について、榎野教育長に報告願います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

H27.12.25 総合教育会議

H28.1.10 成人式

H28.1.10 消防出初式

H28.1.15 校長の会議

H28.1.16 佐田中学校竣工式

H28.1.19 管内教育長会

H28.1.22 市議会全員協議会

H28.1.26 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

H28.1.27 檜山小・東小再編統合推進委員会

H28.2.2 校長面接 ～2.17

H28.2.2 管内教育長会

H28.2.3 まちづくり懇談会(鳶巣)

H28.2.5 佐香小・久多美小再編統合推進委員会

H28.2.8 いじめ問題対策委員会

H28.2.8 同和対策委員会

H28.2.10 校長会役員懇談会

H28.2.11 くにびきマラソン大会

H28.2.16 管内教育長会

H28.2.18 小中連携実践発表会

H28.2.18 科学館運営委員会

H28.2.22 市議会初日 ～3.18【未確定】

H28.2.23 定例教育委員の会議

(成相委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

4. 議事

(成相委員長) それでは、議事に入ります。「議第52号 出雲市立学校の施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第52号について、何か質疑等はありませんか。

(成相委員長) 大変きれいな学校ができて、有効に使っていただきたいと思います。ほかに質疑等がないようですので、議第52号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第52号については承認します。

5. 報告

(成相委員長) それでは報告事項に入ります。報告(1)「平成28年度奨学生の募集について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) 例年、これはどのぐらいの方が応募されますか。

(赤木次長) 27年度貸与の方は、出雲市奨学金が6人、すべて大学生で高校生はゼロです。高野令一育英奨学金の方は大学生が3人、高校はゼロです。今年度については、すべての方が合格しました。というのは、両方に併願される方がいますので、高野令一育英奨学金は1人で、あと2人は出雲市奨学金の方で審査に合格されました。

(下手委員) これは、高校や中学校を通して周知されるのですか。

(赤木次長) 市内の中学校の、3年生の保護者の方にお知らせしています。それから市内の高校の3年生、または在學生に、高校を通じてPR、周知をお願いしています。

(本田委員) ほかの奨学金と、併せてもらうことはできますか。

(赤木次長) 可能です。

(松浦委員) 返済については、どういう状況ですか。

(赤木次長) 高野令一育英奨学金については、26年度の決算で93.7%で、若干未納があります。過年度もかなり溜まっておりまして、200万円あまりの未納があります。出雲市奨学金も、26年度は低くて82.6%です。連絡が取れない方もいらっしゃいまして、海外に出られるといううわさの方もいらっしゃいます。いろいろ保護者や保証人と連絡を取りながらお願いはしておりますが、保護者の方もわからない方がいらっしゃいまして、未納が溜まっている状態です。

(成相委員長) いろいろな事情がありますからね。元気でがんばっておられる方は、ちゃんと返してもらわないといけません。これから先の子どもたちの資金にもなりますからね。

(成相委員長) ほかにありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に報告(2)「平成28年度における学校教育用バスの使用時間配分について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) 小学校の表を見ますと、単純にクラス数で配分時間を割ると、少ないところで8時間ぐらい、多いところは17時間ぐらいになります。均等割がありますので、小さいところは使える時間が多くなっていて、クラス数が多い学校は使える時間が少なくなっていますが、それが倍半分ぐらいの差があります。均等割とクラス数の割合の、何かしら意図はありますか。

(赤木次長) 均等割とクラス数の割合を3:7で、クラス数を多くしておりますが、確におっしゃるとおりです。

(本田委員) 使われる実態というのは、今ほとんど使われているとおっしゃいましたが、だいたいこの時間数に沿って使われていますか。

(赤木次長) 中には大幅に残す学校や大幅に足りない学校があります。日々使用状況が見られるようになっていきますので、学校間でもらったりあげたりというのを、特にこの

12月、1月ぐらいからしてもらっています。

(本田委員)何かしら意図があって、そういう差があるのかなと思ってお尋ねしたところです。

(赤木次長)いえ、それはありません。

(松浦委員)年度末を迎えるにあたって、これに関して学校から、もっとふやしてほしいというような要望は出てくるものですか。

(赤木次長)もっとふやしてほしいという要望は出ておりますが、なかなか財政的にも難しいです。

(松浦委員)今の、余る学校もあるということでの調整も難しいものですか。

(赤木次長)今お話したように、毎日パソコンの画面で見られますので、確認して、使う予定がなければもらえませんかと交渉はしてもらってしまっていて、かなり出入りはあります。ほかに、ふるさと学習や総合的な学習については、別途学校教育課で予算配当をしています。

(成相委員長)ドライバーさんの平均年齢は何歳ぐらいですか。それから今、バス事故が頻繁に起きています。教育バスは長距離ではありませんが、乗っているのが子どもたちなので、先日も中学生を乗せた車の後輪部分が火災事故を起こしたことがありますが、バスで何かあったときに、子どもたちが緊急避難するようなことは、訓練とか知識とかはありますか。

(赤木次長)運転手さんの年齢は、60歳台が4人、50歳台が2人です。今度、60歳台が2人おやめになって、新たな方をお迎えします。

(成相委員長)火災事故が起きたときに、子どもたちがすぐバスから出られる、避難できるようなことはどうですか。バス事故が多いので余計に思いますが、保護者の方からすると、そのあたりが心配だと思います。

(赤木次長)また検討します。

(成相委員長)よろしくお願ひします。ほかにありませんか。

(各教育委員)なし。

(成相委員長)次に報告(3)「出雲市立小・中学校の卒業式及び入学式について」を、

学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に報告(4)「平成27年度「出雲市保幼小交流の日」アンケート結果等について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(4)について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) 資料の中に、「園に通っていない子どもも参加できるといい。」という感想が書いてありますが、もう少し詳しく教えていただけませんか。園に通っていない子どもさんとは、どういう子どもさんですか。それから園に通っていない子どもさんの数は、市で把握できていますか。案内状を出すにしても、連絡手段は、何かありますでしょうか。

(安井課長) 現在は、保育所、幼稚園を通じて、入学される小学校へ行っていただいています。保育所、幼稚園へ通っておられない子どもさんには、案内がしてないです。これがひとつの課題といたしますか、保幼小連携という、今は施設の連携を中心にやっておりますけれども、小学校入学というのは、在宅から直で小学校へ行かれる子どもさんもおられますので、確か100人から200人の間ぐらいだと思いますが、私たちとしては、保幼小連携の少し拡大版も検討したいと思っております。

(本田委員) どの子どもさんが行っておられないというような、住所とかは把握できていますか。

(安井課長) 調べればわかりますけれど、案内をしていない関係で、調べてはいないです。

(成相委員長) 今度から、そういったところにも広げていくような感じですか。

(安井課長) それを検討したいと思います。

(成相委員長) それで、声がかかっていないところが、声がかかっていくと、来てもらえるようになると思いますね。

(本田委員) この子どもたちは、集団生活に慣れておられない子どもさんではないかと思しますので、よろしくお願いします。

(安井課長) わかりました。

(松浦委員) 資料の中で、「小学校の教育について理解が深まった」という保育所回答数は5ということで、絶対数が圧倒的に保育所が多い中で、この数字というのは根本的にどうしたものか、大きな問題ではないかと思いました。これからどんどん保育所の方が多くなる中で、相対的に見ると幼稚園より保育所の方が効果が出ていないというか、理解が少ないというか、このあたりが今後の課題になってくるかなと感じました。このアンケートをされて、そもそもの交流の日の狙いがあったところに対しての成果だったと思われる点と、反省すべき点について感想があればお願いします。

(安井課長) 先ほど松浦委員さんがおっしゃいました、保育所の、小学校の教育についての理解というのは、そもそも保幼小交流、連携の大きな狙いのひとつでして、現状はちょっと途切れたところがあって、ひとつの子どもの教育像を目指して、小中だけではなくて、保幼から小へつなぐということがやはり必要だろうということで、この数字は真摯に受け止めながら、やはりこれを上げていくためにこういった活動をしていくことが必要だと感じています。それから評価する点としては、アンケートもとりながら、まずは教職員の意識から変えていかないと進まないと思いますので、今の教育の部分では非常に低い率ではありますが、ほかのところではまあまあというところもあって、ただ求めるのは、連携等はやはり100を求めていかないといけないと思いますので、まだ「保幼小交流の日」も2年目ですので、重ねていきながら皆様のご理解をいただいて子どもにつなげていきたいと思っています。課題はまだまだたくさんありますけれど、保護者への説明が十分でなかったというような具体的な課題も出てきていますので、やはり保護者にご理解をいただけないと、施設だけで進めてもなかなかうまくいかないといったところが課題かなと感じています。

(松浦委員) 始まったばかりということなので、課題を工夫して一つ一つ解決していかれると、小学校もいろいろなことが安定していくのではないかと思います。それから資料の小学校の質問事項からの、「来校はなかった」というのは、例えば1人のために教員がそこに見に行くことができなかったというのはマンパワー不足のことでしょうか。

(安井課長) これも、若干連携不足のところがあって、積極的にできるだけ出てくださという案内をした学校としていない学校があって、そういった話も聞いていないということで、悪気はないけれども出られなかったところもあったようです。

(松浦委員) 通常はやはり、見に行っていたきたいということですね。

(安井課長) 私たちはそういう思いで、そういう学校がほとんどなんですけれど、それが伝わらなかった校区は、こういった現象があったようです。これは相手が悪いということだけではなくて、やはり一緒にやりましょうということもなかったと聞いておりますので、そのあたりも、みんなで作り上げていくということで、声がけはすべきだと思っております。

(杉谷部長) 学校からすると、いろいろな保育所、幼稚園から来る学校があるわけです。それがひとつの保育所、幼稚園にすると、いろいろなところに出て行くという形態もあるわけで、その行き先が10か所、20か所に及ぶようなことが仮にあったとすると、先ほどおっしゃった、もう職員室で入りきれないので、行けたところと行けないところが出てきている可能性もあるのではないかと思います。そのあたりの両方の面が、あるのかもしれない。

(成相委員長) 自由記述の小学校で、「それぞれの小学校に事情があるので、全ての小学校が一斉に行うのは難しいと感じていた。しかし、幼稚園・保育所の側からすると、同じ日に行う方が都合が良いのも理解できる。昨年度から始まったばかりなので、体制作りなど大変だったが、これから会を重ねればそれほど負担ではなくなるかもしれない。」と書いてあって、始まったばかりだからこういう意見が出ていると思います。続けていくことによっていろいろな問題が解決されて、このアンケートの結果がどんどん変わってくるだろうということは感じました。それから、参加保護者の集計結果の中で、「参加した保護者同士の新しいつながりについて」というところで、「あまりできなかった」が保育所で45ありますが、保護者同士の新しいつながりができるような何かをされたのですか。

(安井課長) これはいろいろな取組があって、すべて把握はしておりませんが、保護者だけを集められた学校もありますし、そうではなくて子どもの様子をずっと付いて歩かれた学校もあって、集められたところは当然それで隣の人と対話もありますけれど、付いて歩かれるときにも、たまたま横の方に声がけをされたというようなケースではないかと思えます。

(成相委員長) 自然発生的に、そういうようにつながっていくということですね。何かをされたのであれば、できなかったのはさびしいと思いました。同じ年齢の子どもを持ったお母さんたちが話し合って、普通に付き合うというのが非常に大事だと思うので、そういったこともこれから期待したいと思います。

(松浦委員) 平日だったんですけれど、保護者の参加率は幼稚園、保育所、それぞれ把握しておられますか。

(安井課長) 手元にはありませんが、かなり高かったというイメージです。

(松浦委員) 保育所は働いておられる率が高いと思いますが、結構出られましたか。

(安井課長) はい。ただ、この近辺で就学児健診とかもあって、働いておられる方はなかなか休みづらいというご意見も中にはありますが、子どものことですので、かなり来ていただいています。

(松浦主査) 92.8%です。

(榎野教育長) 反省点ということでは、保護者へのこの交流の日の意義の伝え方が弱かったというのがいろいろ書いてあって、やはり教育委員会がもっと前面に出て、保護者にしっかりと伝えるということです。保育所や幼稚園の方へ、「出ない」という声が多かったらしいですけど、内容を説明したら、それではという保護者がおられたようですので、もう少しこちらからわかりやすいものを出さないといけないと思います。それから、それぞれの学校でいろいろ実情に合わせて工夫した取組が行われましたけれど、できるだけこも揃えてやった方がいいと思ったのは、校舎の中をきちんと見て回ることが、あったところとなかったところがあって、なかったところは保護者の不満が多かったと思ってアンケートを拝見しました。それはできるだけメニューの中に入れてもらいたいと思ったことと、先ほどありましたように、保護者同士の交流というものも着目して、活動のメニューの中に入れていった方がいいと思いました。以上3点が、私がアンケートを見た感想、反省です。

(下手委員) 以前、リーフレットを作っておられましたね。わかりやすかったです。

(榎野教育長) PRの仕方も、交流の日のいづらか前に、幼稚園や保育所にポスターを配って貼ってもらうとか、もちろんチラシも配る、そういう中で関心を高めて、いろいろご都合もあるでしょうけれど、できるだけ参加していただくために、教育委員会として来年度はもっとやらなければいけないと思いました。

(成相委員長) いいことなので、どんどん盛り上がっていくといいですね。

(成相委員長) ほかに質問はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に報告(5)「出雲市『ふるさと学習』教職員研修会について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(成相委員長) 個人的には、私も行ってみたいと思いますね。結構、知っているようで知らない、面白そうなところがたくさんあるという気がしていました。

(槇野教育長) ふるさと学習に力を入れていて、その一端を報告させていただきましたが、もともと学力向上という流れの中で、こういうことにも取り組んでいます。項目にはありませんが、プラスワン講座について、事務局から説明ができますか。プラスワン講座という教員の授業力向上と、学力向上対策で教員研修をしまして、いろいろな中身でしていますが、かなり多く出席いただいて、一生懸命取り組んでくれていますので、今年度の内容と参加者の状況を、これに絡めて説明できればお願いします。

(松浦主査) それでは、プラスワン講座についてお知らせします。正式には、出雲市学力向上研修講座といたしまして、教員の授業力向上を目指した研修会を、これまでに8回開催しています。5月から11月までは、どちらかといえば経験年数が浅い方、講師の方、そういう方に子どもたちの学習意欲を高めるための、明日から使える授業のテクニックといたしますか、そういう子どもたちへの実践的な内容のものを取り入れて行っています。これは特別講師を呼ぶのではなくて、市内の学校でがんばって実践をしておられる方に、実践事例などを紹介していただきまして、それを基にグループで協議をしながら、では自分だったらどうしようとか、話し合いながら考えていく、そういう内容にしています。それから、島根大学教育学部に、出雲市出身の特任教授が3人いらっしゃいます。この度、1月20、21、22日の3日間連続で、その方に来ていただきまして、今度はユニバーサルデザインの考え方とか、アクティブラーニングなどの理論と具体的な実践のポイントについて、演習やグループでの活動も交えながらやっていただきました。これは希望者での研修ですが、だいたい平均30人から40人の出席があります。1月の講座は、50人から70人ぐらいの希望がありました。それだけ教職員の皆さんの、もっと授業を良くしていこうという意欲が、高まっているのではないかと思います。今後も続けていきたいと考えています。以上です。

(成相委員長) ありがとうございます。ほかに報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 次に報告(6)『『いずも防災メール』の登録及び活用について』を、児童生徒支援課 竹田課長 に説明願います。

(竹田課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 早速対応していただきまして、ありがとうございます。子どもたちの安全が一番大事ですので、何十年に一度というようなことも最近出てきていますので、

学校側もそのときの対応で、子どもたちの安全を考えていただきたいと思います。只今の、報告（6）について、何か質問等はありませんか。

（杉谷部長） 学校の施設について、この寒波による影響も出ておりますので、金山課長から報告させます。

（金山課長） それでは先週の土、日からの寒波による凍結被害について、説明させていただきます。一番寒かったのが日曜日でしたが、土曜日から冷えてきて、月曜日は少し緩みました。その影響で、月曜日の午前中から、学校から電話が入り始めました。内容は、一番多かったのが高架水槽に水が汲み上がらなくなったということです。それから屋外の手洗いや足洗いのところが、漏水しているというのが徐々に出てきました。徐々にというのは、日曜日に凍ったものがだんだん緩んで、解けてくる時間に合わせて連絡が増えてきたということで、比較的気温が下がった南の方の地域、山間部では今日の午前中になって連絡が来たところもありました。今のところ、今日の午前中の段階で、すべての学校について緊急的な対応は済みまして、今支障なく学校生活は送れるような状態になっております。述べ件数は、11時までのところで27件ぐらいの被害がありました。以上です。

（成相委員長） 新しい学校は、ほとんどないですね。

（金山課長） 新しいといたしますか、幼稚園で合併以後に建った比較的新しいものがありますが、たまたま暖房形式の違いで、気温が下がりすぎて、想定外のことが起きて温水暖房の管が破裂して天井から水が落ちたということもありました。

（成相委員長） ほかに質問はありますか。

（各教育委員） なし。

6. その他

（成相委員長） 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 赤木次長 に説明をお願いします。

（赤木次長） 資料に基づき説明。

（成相委員長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） なし。

(成相委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) なし。

7. 次期教育委員会の開催時期

(成相委員長) 次期教育委員会の日程ですが、2月23日(火)の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会1月定例会を閉会します。

(15:25) 定例教育委員会閉会